

携連野
計業分
画事異

須坂の技術を認定

部品の特殊加工で県内初

須坂市は29日、市内の機械設計会社、ナティック(上野栄蔵社長)など6社が連携し市場開拓を目指す「中空パイプ内面バリ無しプレス加工技術が、関東経済産

業局から、中小企業新事業活動促進法に基づき「異分野連携新事業分野開拓計画」の認定を受けたと発表

した。県内初の認定という。ナティックが開発し、特許出願中の技術。バリとは材料を切ったり削ったりした際に材料の角にできる出

ぬかれたパイプなどに外側

からではなく内側から穴を空けることで、内側にバリを残さず、自動車部品などを製造することができるとを製造することができると

内側のバリを無くすことで製造コストが大幅に下がり、品質も高まるという。同社と市内の金型加工会社などが連携し、製品のサ

ンプルを作り、自動車部品メーカーなどに売り込む。認定により、事業費約4500万円のうち、3000万円程度が補助されるほか、有利な融資制度も受けられる。3年後に5億円、5年後に20億円の売り上げ

を目標としている。